

令和元年度（2019年度）
吹田市立図書館点検・評価報告書

令和3年（2021年）3月31日

吹田市立図書館

この点検・評価報告書は、図書館法（昭和25年4月30日法律第118号）第7条の3に基づき、吹田市立図書館の運営の状況について自己評価を行うとともに、図書館協議会による外部評価をいただいて作成し公表するものです。

吹田市立図書館は、「吹田市立図書館基本構想」（平成25年4月策定）を策定し、平成25年度（2013年度）から10年間の図書館活動の指針を明らかにしています。その第2章3のサービス計画の中で3つの基本目標を設定しています。この基本目標に沿って作成したアクションプラン（別表）の課題と各事業について自己評価と外部評価を行います。

吹田市立図書館の3つの基本目標

基本目標 1 地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービスを目指します。

基本目標 2 生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスを目指します。

基本目標 3 子育てや学校の支援を通して、子どもの健やかな成長に役立つ図書館サービスを目指します。

評価の基準

- A 取組みを実施し、目標を上回る成果があった。
- B 取組みを実施し、目標には達していないが一定の成果をあげた。
- C 取組みを実施したが、十分な成果をあげることができなかった。
- D 実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。

この基本目標とその取組みごとに、図書館の自己評価をするとともに、図書館協議会より外部評価を得るものとします。

〔凡例〕

※文中、表に示している図書館名は次のように省略しています。

中央図書館→「中央」、千里図書館→「千里」、千里図書館北千里分室→「北千里」、さんくす図書館→「さんく」、江坂図書館→「江坂」、千里山・佐井寺図書館→「ちさと」、千里丘図書館→「千里丘」、山田駅前図書館→「山駅」、山田駅前図書館山田分室→「山田」

基本目標 1

地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービスを目指します。

取組み 1 図書館施設及びサービス網の整備

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H30	H31/R元
中央図書館の再整備	令和2年度秋リニューアル開館	—	実施設計完了	改修工事に着手
サービス網の整備	健都ライブラリーの整備	実施	実施設計完了	建設工事に着手
	北千里小学校跡地整備事業	実施	設計等業務委託契約締結	基本計画、基本設計の完了
広域利用の促進	広域利用している吹田市民の数（北摂7市3町）	延利用者数増	24,412人	25,352人
	広域利用している吹田市民の数（大阪市・試行）	登録者数増	1,127人	1,051人

（参考）広域利用している他市市民の数（北摂7市3町）

延利用者数	実績	
	H30	H31/R元
	14,354人	13,818人

取組みに対する

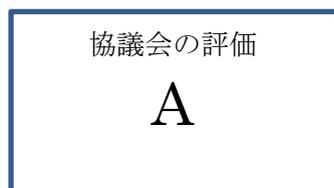
【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

A

- [成果1] 中央図書館の耐震化に伴う改修工事の実施については、再開館に向けて準備作業を進めています。また、工事に伴う休館中は、近接の総合福祉会館に臨時窓口を開設し、予約資料の受け渡し等を行い、サービスの継続に努めました。
- [成果2] 北大阪健康医療都市内での健都ライブラリーの整備については、建設工事に着手し、予定どおり準備を進めました。
- [成果3] 北摂7市3町広域利用では、広域利用をしている吹田市民の数が増加し、他市の図書館も利用することが定着しています。
- [課題1] 中央図書館の耐震補強工事及び大規模改修工事については、遅滞なく工事を完了し、再開館に向けて準備を行うとともに、20年先の複合施設での再整備について検討準備を始めていきます。
- [課題2] 更新時期を迎える自動車文庫については、岸部地区での健都ライブラリーの整備後、駐車場の整理と今後の活用方法について検討を進めていきます。

【図書館協議会の評価】



- [成果1] 中央図書館改修工事中も臨時窓口を設けたり、自動車文庫の臨時駐車場所を設けるなど、できる限りサービスを提供し続けたことを評価する。
- [成果2] 中央図書館の工事に伴い、本の予約貸し出し（読書会の大量の本でも）、又、他市からの取り寄せなど大変ありがたく、司書の力量を実感している。健都ライブラリーの開館前に見学出来た事で地域性を持たせた図書館作りも実感できた。開館後もたくさんの市民が利用していると聞き、これからも市民の声を反映し、ともに作る図書館作りを願っている。
- [成果4] 健都ライブラリーを見学し、とても考えられた施設と感心した。すべての年代に向けて考えられていると思った。
- [成果5] 広域利用について（コロナの影響があったにも関わらず）前年度並みの実績を残していることは高く評価できる。
- [課題] 新館建設が順調に進んでいますが、事業を充実・発展させる職員体制の構築が欠かせないと思います。今後ともサービスを支える司書を採用し、研修を充実して人を育てていくよう要望します。また、スムーズなネットワークを作っていくうえで全館市直営が必要だと思っています。

取組み 2 利用促進

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H30	H31/R 元
年間貸出冊数の目標達成（個人貸出）	貸出点数	4,080,000 点	3,542,107 点	3,238,042 点
広報・情報発信機能の推進	ホームページアクセス推移（蔵書検索）	経年比増	6,424,185 件	6,403,399 件
	SNS 投稿件数（Facebook）	経年比増	452 件	313 件
	SNS 投稿件数（Twitter）	経年比増	563 件	806 件
	メールマガジン送信件数	経年比増	52,384 件	59,393 件
	新着案内送信件数	経年比増	14,723 件	13,341 件

（参考）利用者数 ※年度内に 1 回以上利用した登録者数。

利用者数	実績	
	H30	H31/R 元
	69,248 人	64,837 人

一日平均貸出冊数

H30	中央	BM	千里	北千里(分)	さんくす	江坂	千・佐	千里丘	山田駅前	山田(分)
図書	928	302	1,493	621	910	1,144	1,459	1,250	1,179	714
視聴覚	17	3	154	22	113	112	116	84	132	16

H31/R	中央	BM	千里	北千里(分)	さんくす	江坂	千・佐	千里丘	山田駅前	山田(分)
図書	328	295	1,545	649	1,086	1,270	1,571	1,283	1,206	728
視聴覚	17	2	141	22	112	113	120	83	125	16

※H31/R 元年 中央図書館は臨時窓口の数値

取組みに対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

B

[成果] SNSについては、Twitterは、これまでの月ごとのテーマだけでなく、毎日の挨拶 Tweetとして、その日の記念日などを切り口にした資料の紹介を開始し、大幅に投稿数を増やしました。

[課題1] 中央図書館は、平成31年4月1日から耐震補強及び大規模改修工事のため長期休館しています。加えて新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月6日からは全館臨時休館をした影響もあり、ほとんどの項目において数値は目標に達しませんでした。「新しい生活様式」の中での図書館サービスの在り方を模索していきます。

[課題2] 貸出冊数については、令和4年度末に人口一人あたり12点を目標に掲げ、約432万点の貸出を目指していますが、令和元年度の達成率は79%と目標値を大きく下回っています。また、前年度に比べても91%と減少していますが、長期休館をしている中央図書館を除く各図書館ともほぼ1日平均貸出冊数は前年度を上回っており、さらに利用者一人あたりの貸出数も93冊と前年度の51冊に比べて大幅に増えています。今後も何度でも行きたくなる図書館づくりを進め、利用者数を増やす取り組みをしていきます。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価

B

[成果1] 貸出点数は、H30年度と比べて何とか踏みとどまっているし、新しいサービスに取り組んでいるのもよい。

[成果2] 貸出冊数の目標値が高いために、目標達成にならず、30年度よりも減になっているが、中央図書館の長期休館、コロナによる3月期の閉館を考えると、この減はしかたないものである。中央図書館以外の全館の一日平均貸出冊数が30年度を上回っていること、Twitter投稿件数とメールマガジンの発信件数の大幅増には「A」の価値があると考えられる。

[課題1] 利用促進の指標として HP 関連ばかりがあがっているが、リアルも重視してほしい。実際に図書館を訪れた時の特設コーナーの魅力や新刊をはじめとした蔵書の充実が欠かせないと思う。資料費確保の努力を行っていただきたい。

[課題2] コロナ禍だからこそ、本を読む時間が出来、みなさん、本を借りたのと思う。貸出しの数にこだわらず、お家時間を満たすことが出来るようこれからも取り組みが必要である。

[課題3] SNS系については、指標数はもちろん重要だが今度はインプレッション等拡散状況や広報から利用、イベント参加へのつながり、広報の満足度（共にアンケートで把握）などの効果面を指標化していったらどうかと考える。

取組み3 資料と情報の提供

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H30	H31/R元
成人サービス	成人向け講演会等行事参加人数	1,200人	3,983人	2,941人
レファレンス(相談業務)	レファレンス調査回答件数	経年比増	15,289件	12,623件
地域資料の収集・保存と活用	新聞等地域件名データ新規作成件数	—	851件	754件
行政支援サービス	相談受付件数	経年比増	17件	15件
児童サービス	児童向け行事参加人数	20,000人	11,665人	9,691人
	冊子発行部数	13,000部	17,329部	17,449部
YAサービス	YAサポーター行事参加人数	40人	62人	42人

取組みに対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

B

[成果] 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館期間中、自宅で本を楽しんでもらえる配信動画サイトの紹介や予約をしてもらうためのパスワードの発行方法などを図書館ホームページにアップしました。以降も、保育園、幼稚園、学校が臨時休業をしている子どもたちへ本の楽しさやおもしろさを伝える試みとして、司書が出演する動画作成等の企画を継続しました。

[課題] 中央図書館が平成31年4月1日から耐震補強及び大規模改修工事のため休館していたことに加え新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月6日から臨時休館をした影響もあり、ほとんどの項目において数値は目標に達しませんでした。今後も新型コロナウイルスの感染など社会状況を見ながら行事等サービスの在り方を模索していきます。特にホームページでの動画の配信については、資料と情報の提供、行事の新しい実施方法として積極的に研究していきたいと考えています。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価

B

[成果1] コロナ禍で新しい情報提供の仕方を模索したのがよかった。行政支援サービスがもっと浸透することを望む。

[課題1] 動画配信の需要はこれから増えていくと思う。利用者の意見を取り入れる必要があると思う。

[課題2] この時期の資料の提供他、緊急事態時は致し方ないのかとは思っているが、こういう時こそ図書館を開けて、市民の心と頭脳を守る場としての役割を果たしていただきたい。開ける事へのリスクも働く人への命を守る事も重要である。でも、利用者として万全の準備をして、開ける方向で考えていただきたい。そのために少々の不便はあっても良いと思う。

基本目標 2

生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスを目指します。

取組み 1 施設や地域との連携

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H30	H31/R 元
吹田市出前講座の充実と活用	出前講座等講師派遣実施回数	6 件	26 件	20 件

取組みに対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

A

[成果 1] 出前講座等講師派遣実施については、中央図書館が平成 31 年 4 月 1 日から耐震補強及び大規模改修工事のため休館していることもあり、回数が減少しましたが、毎年定例で派遣依頼を受ける事業もあり、サービスが浸透しています。

[成果 2] 吹田市の他部局との連携についても、「すいたクールアースウィーク」への参加（環境政策室）、「介護・療養」を調べる方へ（介護情報パスファインダー）の改版作成（高齢福祉室）などを継続的に行っています。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価

A

[成果 1] 出前講座など講師派遣の回数が目標を大幅に上回っていることはいいと思う。

[課題 1] 地域との連携がさらにふえてほしいのですが、その指標になるものが何かないか。

[課題 2] 生涯学習は市民である私たちのこれからの重要な生きる場所になると思っている。これからの新しい取り組みも期待している。

[課題 3] 新型コロナウイルス感染拡大のための利用制限があり、予約はできてもやはり本にかこまれて本を選ぶということは、大事なことだと思った。

取組み2 自己実現の援助

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H30	H31/R元
ボランティア活動の推進	ボランティア総数	865人	607人	619人

※目標値は令和4年度に1,000名登録を目標に、年45名増を目指しています。

※ボランティア登録状況 25団体 619人（平成30年度 25団体 607人）

取組みに対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価
B

[成果] ボランティアの登録人数は、目標には達していませんが、前年度よりは増加することができました。図書館フレンズは、令和元年度から通年登録を開始したところ、8名の登録がありました。

[課題] 全体のボランティア登録数が目標値に達しません。引き続きボランティア養成講座の実施と修了者の登録促進や活動継続促進のための働きかけを行います。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価
B

[課題1] 「自己実現」をもう少し幅広くとらえてはどうか。市民の参画で企画を行うことも指標にし、さわる絵本の講座やちさとの暮らしに役立つ講座などがこれにあたると思う。

[課題2] これまで図書館を利用してこなかった人達でも、図書館イメージが変わることで、積極的に図書館に関わってくれることも考えられる。従来の利用者増に捉われない形で、住民に図書館の良さをアピールし、それぞれの自己実現の支援ができれば、一層良いと考える。

取組み3 図書館利用に障がいのある人へのサービスの充実

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H30	H31/R元
視覚障がい者サービス	対面朗読実施回数	—	747回	720回
	録音図書貸出件数	2,800タイトル	3,995タイトル	3,423タイトル
	サピエ図書館ダウンロード数	—	—	1,183件
来館困難者へのサービス	郵送貸出	—	226冊	199冊
聴覚障がい者サービス	希望される場合の手話通訳の手配	—	申込なし	2回
障がい児サービス	資料の充実 (さわる絵本の所蔵数)	経年比増	12冊	13冊

取組みに対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価
A

[成果] 障がい者サービスへの理解を広げ、利用を促進するために、図書館体験ツアー、さわる絵本の読みきかせ、さわる絵本展、えほんのじかんユニバーサル、ふうちゃんのでのひらえほん（絵本と手話うた）、また初めての試みとしてバリアフリー映画上映会を行いました。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価
A

[成果1] 図書館サービスに障がいがある人のために意欲的に取り組んでいる。2019年6月に読書バリアフリー法が施行されたが、この法律との関連でサービスを改善した点なども盛り込めないか。

[成果2] 吹田市立図書館の障がいのある方への取り組みは、他市に比べて高い水準だと聞いている。これからも期待している。

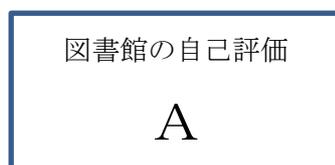
[課題1] (新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館により) 図書館内への立ち入りが出来なくなって、同じ状況ではないかと思った。

取組み4 特色あるサービス

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H30	H31/R元
ビジネス支援サービス	関連施設との連携事業	1	1	1
多文化サービス	多言語による読み聞かせ等の行事の実施	2回	5回	3回
	外国語資料所蔵数	経年比増	5,762冊	5,900冊
健康・医療情報サービス	関連講座の実施	実施	2回	2回
地域経済への貢献	実施事業数(広告事業)	5件	3件	4件

取組みに対する

【図書館の自己評価】



[成果1] (ビジネス支援) 千里図書館において地域経済振興室との連携で引き続き「起業コーナー」を設置しています。江坂図書館では、ビジネス講座を継続して開催することができました。

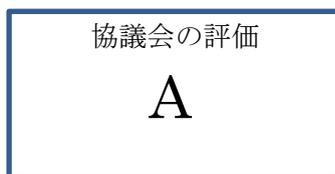
[成果2] (健康・医療情報) 大阪府済生会千里病院の協力で、千里図書館で令和元年度も2回講演会を実施し、最新の情報を直接医療関係者から聞く機会を設けることができました。

[課題1] ビジネス支援は、地域の企業や市内で就労されている方への具体的な働きかけが引き続きの課題です。

[課題2] 健康・医療情報については、健康に特化した図書館として令和2年度に開館予定の健都ライブラリーを中心としたサービスの在り方の再検討を行います。

[課題3] 多文化については、小学校で英語の授業の開始を受けて、図書館としての支援の仕方を研究していきます。

【図書館協議会の評価】



[課題1] ビジネス支援サービスの目標値自体が物足りない。関連で就労・支援サービスに取り組んだらどうでしょうか。コロナ禍で需要があると思う。

[課題2] 健康・医療情報サービスについて、コロナ禍でこれまで以上にニーズが高まっていると思う。マスメディアだけでなく、根拠資料を提供できる公立図書館の役割を市民に提示できる試みを期待している。

基本目標 3

子育て支援や学校の連携を通して、子どもの健やかな成長に役立つ図書館サービスを目指します。「子ども読書活動推進計画（改訂）」の推進

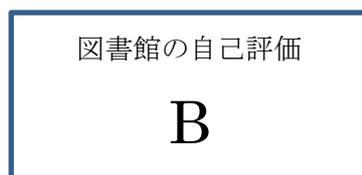
取組み1 子ども読書活動支援センター機能の充実

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H30	H31/R元
子育て支援サービス	ブックスタートのひろば、おひざで絵本等参加人数	23,000人	16,404人	12,663人
学校連携	図書館見学等参加人数	2,300人	2,067人	1,228人
	団体貸出冊数	—	11,628冊	10,241冊

講座・講演会等の開催	児童文学に係る講座・講演会等の参加人数	1700人	755人	355人
吹田市出前講座その他講師派遣	児童生徒の読書活動の振興を目的とする出前講座、講師派遣事業参加人数	430人	814人	876人

取組みに対する

【図書館の自己評価】



[成果1] (出前講座・講師派遣) 図書館独自の子育て支援の講座に加え、公民館や児童センター、保育園等依頼があれば必ず出かけています。PTA 図書ボランティア、児童センターなどから毎年恒例で依頼を受けることも増え、参加人数は、昨年度実績を上回りました。

[成果2] (学校支援) 地域の図書館より市内全小学校と中学校についても全18校中9校(平成30年度は7校)への図書室訪問を実施し、図書担当教員や読書活動支援者との交流を行いました。また、各小中学校の読書活動支援者に地域の図書館に来館してもらい、読書活動支援者同士の交流や図書館との連携を深める取り組みも引き続き実施しました。

[課題1] 中央図書館が平成31年4月1日から耐震補強及び大規模改修工事のため休館していることに加え、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月6日から臨時休館した影響もあり、ほとんどの項目において前年度を大きく下回る実績となりました。特に講座・講演会等の実施において「新しい生活様式」に沿った方策の検討も必要です。

[課題2] ブックスタートの絵本配付を進める取り組みの一環として、市立保育園(旧市立保育園含む)主催の「赤ちゃん会」や保健センター主催の「離乳食講習会かみかみコース」への訪問を令和元年度も実施していますが、配布率アップに向けて更なる方策の検討が必要です。

[課題3] 学校との連携について、職員同士の交流や読書活動支援者への技術的サポートを継続していきます。貸出については、自動車文庫の車両を活用するなど努力していますが、定期的な物流の確保が引き続きの課題です。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価
B

[成果] 出前講座等の参加者の人数がふえていることがすばらしいと思う。今後、吹田市の子ども読書環境の充実のため、ますます求められ、力をいれていくべき事業だと考える。
[課題] 実績の減少は、子どもの数やコロナの影響もあるかもしれないが、親子で孤立している人たちは多く、ブックスタートやおひざへの参加を楽しみに抛り所になっている人が多いと感じている。これからも引き続きよりよい活動になる事を期待している。講演会や講座も読み聞かせに関わる人、保護者にとっても貴重な学びの場である。参加人数ではかる事も必要なことかもしれないが、ただ本のリストを知るだけの（これも必要）講座だけでなく、もっと根本的に「なぜ幼い子に本が必要か」「絵本とはそもそもどのようなものか」というような講座も必要である。根本的なことが欠けていると本を読む行為も形だけになる。

	令和元年度 図書館事業評価一覧	自己評価	協議会評価
基本目標 1	地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービスを目指します。		
取組み	1 図書館施設及びサービス網の整備	A	A
	2 利用促進	B	B
	3 資料と情報の提供	B	B
基本目標 2	生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスを目指します。		
取組み	1 施設や地域との連携	A	A
	2 自己実現の援助	B	B
	3 図書館利用に障がいのある人へのサービスの充実	A	A
	4 特色あるサービス	A	A

基本目標 3	子育てや学校の支援を通して、子どもの健やかな成長に役立つ図書館サービスを目指します。		
取組み	1 子ども読書活動支援センター機能の充実	B	B
総合評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <p>令和元年度、中央図書館が耐震補強工事に伴い休館をしていましたが、臨時窓口を開設、一部資料や業務を全館に振り分け、サービスの継続に努めました。また、岸部地域では健都ライブラリーの準備が進み、北千里小学校跡地整備事業では基本計画、基本設計が完了し、図書館網の整備が進んでいます。これまで継続的に行ってきたサービスについては、着実に取り組みを進めましたが、目標値を大きく下回る項目については、次期、基本構想の策定に向けて目標値の見直しを図るとともにサービスの在り方についても再検討を進める必要があります。これからも市民協働をすすめながら今後も市民の役に立つ図書館サービスを展開していきます。</p> <p>【協議会の評価】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の臨時休館等、思いもかけない状況の発生のため、以前とは全く異なった対応をしていかなければならない。コロナ禍での対策がこれからの課題になると思う。</p> <p>中央館改修工事に際して臨時窓口を開設したり、コロナにより臨時休館の時も予約受付、貸出、レファレンスの電話受付などサービスの可能なかぎりの継続に力を尽くしたところは評価できる。またホームページを利用した新たな情報発信に取り組んだこともよかったと思う。</p> <p>今後、市民参加をすすめていくため、各館で利用者懇談会を開くなど、直接意見を聞く場を設けたり、何か今までしていないことを試みてはどうか。図書館は自治体が運営する文化施設（美術館・音楽ホール等）の中で住民との接触点が多い施設で、拠点数も桁違いに多い。それにも関わらず、目的の資料を借出するだけの施設になっていないか。この点を課題として提起していきたい。</p>	B	B

